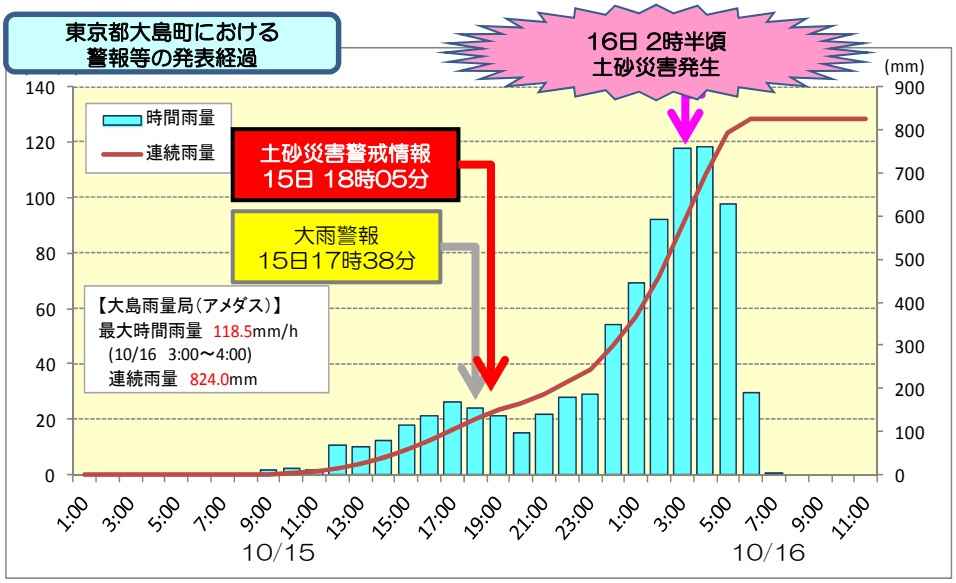
平成２５年台風第２６号
伊豆大島の土砂災害の概要

東京都大島町における土砂災害の発生状況

東京都大島町では台風第26号の豪雨に伴い、火山地域で発生した（流木を伴う）大規模な泥流により甚大な被害が発生。

《被害概要》
死者：３５名
行方不明者：４名
住家被害（全壊）４６戸
住家被害（半壊）４０戸
11月12日 14:00現在（東京都）



土砂災害の状況と砂防施設の効果

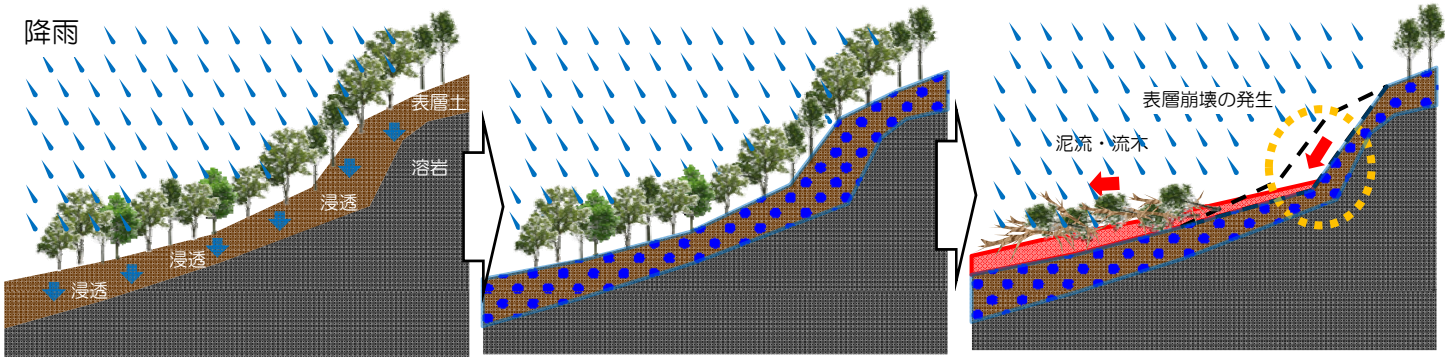
①長沢本川堆積工

②大金沢支川堆積工

③八重沢堆積工・八重沢砂防堰堤

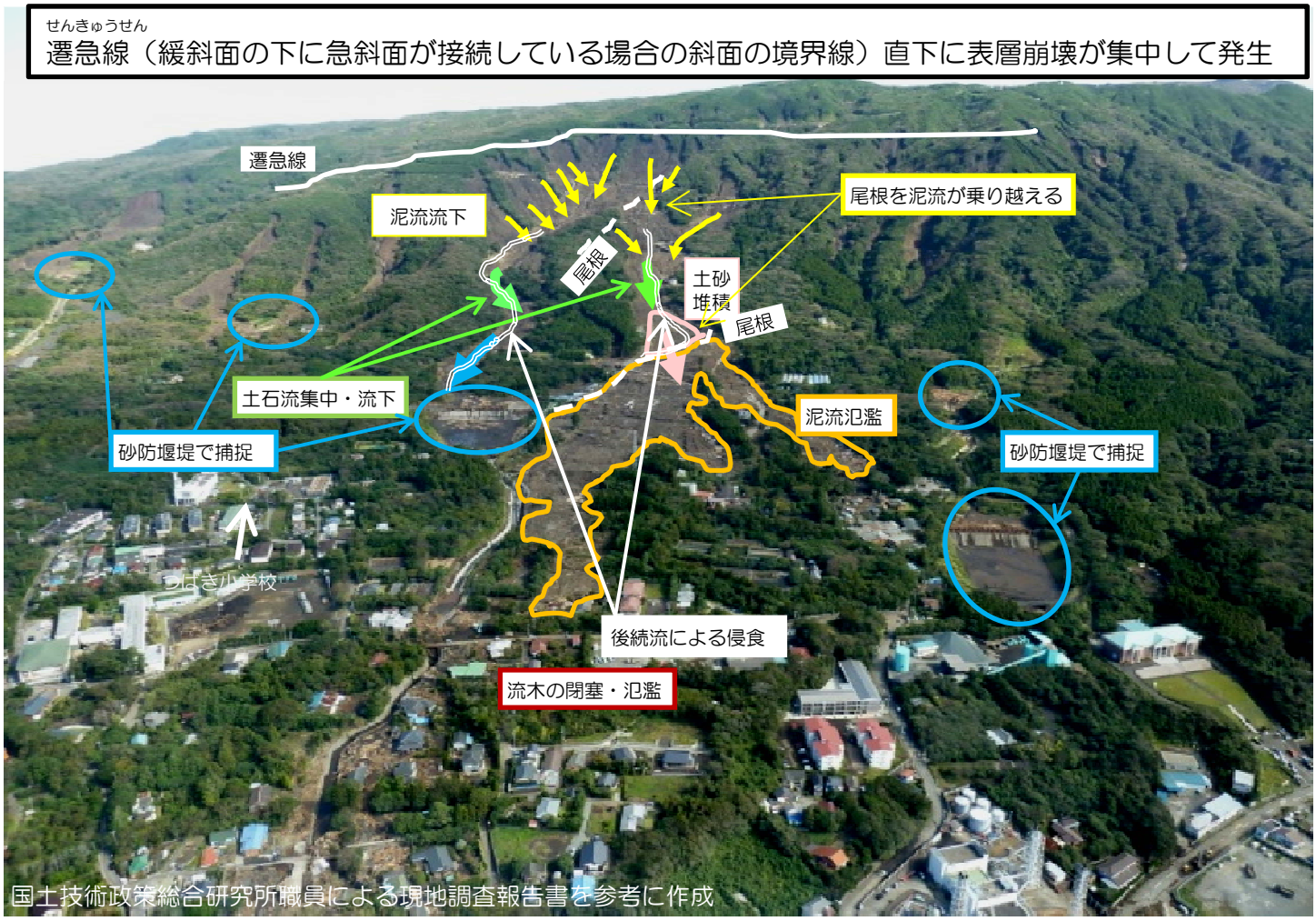
土砂災害の特徴

○溶岩（14世紀の噴火）に堆積していた火山灰を主体とする表層土が崩壊（表層崩壊：崩壊の深さは、概ね１～２m）
○狭い範囲に多くの表層崩壊が集中し、大量の泥流と流木が発生



土砂災害の発生過程

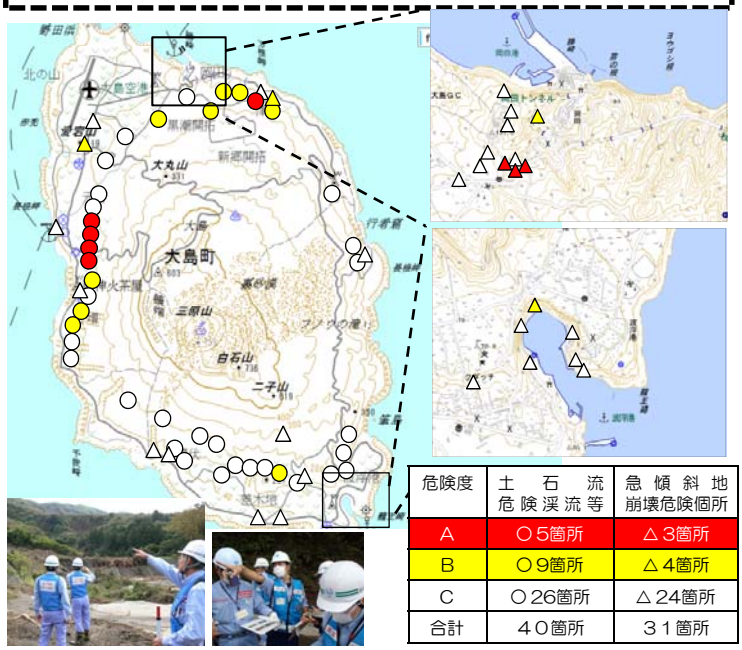
せんきゅうせん
遷急線（緩斜面の下に急斜面が接続している場合の斜面の境界線）直下に表層崩壊が集中して発生



TEC-FORCE砂防班の活動

土砂災害危険箇所の緊急点検

二次災害を防止するため、早急に人命等に影響を及ぼす恐れのある土砂災害危険箇所等の緊急点検を実施



危険度	土石流危険渓流等	急傾斜地崩壊危険個所
A	○5箇所	△3箇所
B	○9箇所	△4箇所
C	○26箇所	△24箇所
合計	４０箇所	３１箇所

A：緊急避難体制を確保するとともに緊急的な対応が必要
B：当面は警戒避難体制を強化するものとし、状況確認の上で、必要に応じ対応が必要
C：特に変化はなく緊急度は低いが、降雨状況によっては注意を要するもの

避難場所点検

二次災害防止のための避難場所の安全点検を実施

捜索活動前の危険箇所再点検

降雨による地盤の緩み等により捜索活動の再開に支障を及ぼす恐れがあったため、技術的指導を行うとともに、捜索開始前に関係機関と連携して点検を実施

監視体制の構築と災害復旧活動

○監視カメラ及び、泥流が流下し、ワイヤーを切断した際に発生する信号を検知・通報するシステム（ワイヤーセンサー、回転灯・サイレン）を整備。

－お知らせ－

土砂災害から身を守るために知っていただきたいこと

土砂災害は予測の難しい災害ですが、土砂災害から身をまもるために国民の皆様に知っていただきたい３つのことについて、以下のURLでお知らせしております。

http://www.mlit.go.jp/mizukokudo/sabo/index.html

砂防部関係施策の詳しい内容については、以下ホームページでご覧になれます。

国土交通省　　http://www.mlit.go.jp/

国土交通省砂防部　http://www.mlit.go.jp/mizukokudo/sabo/index.html